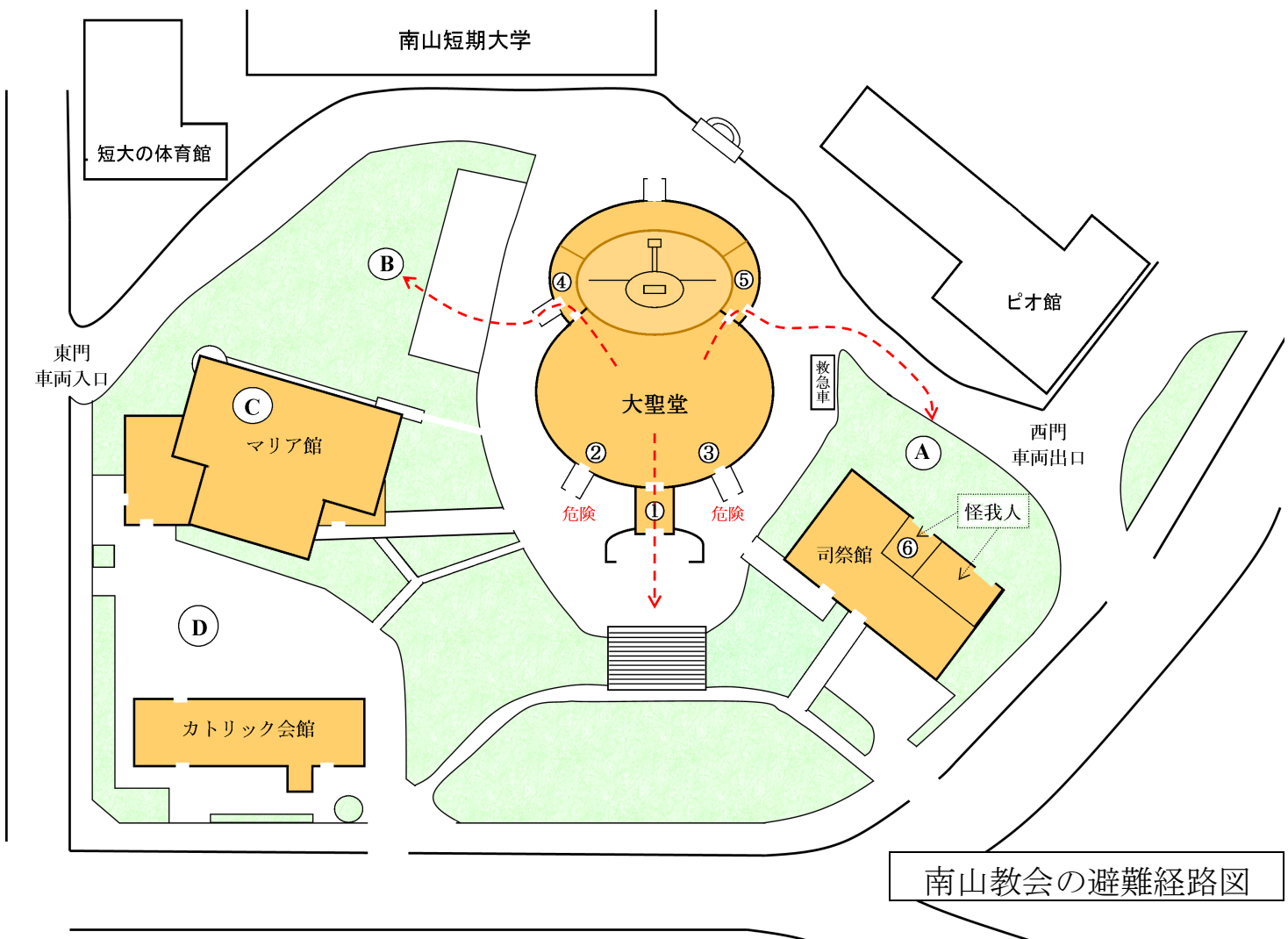


南山教会地震時の避難について

9:30 ミサ、350人の参加者がいる時、地震避難の想定

1. 地震が発生した場合、天井から破片が落ちる可能性があるから、会衆の皆に座席の下に潜るように案内。（地震の最中、聖堂の外に逃げないように注意）
2. 地震が落ち着いたら、正面玄関①と内陣左右の出口の安全性をよく調べてから避難するようにアナウンス。塔から破片が落ちる可能性あるので、聖堂後方左右の脇玄関②③は最も危険。
3. 地震の直後、一番安全な出口は、香部屋⑤を通過して (A) の避難所（司祭館の庭）へ、また、控え室④を通過して (B) の避難所（駐車場の裏）へと、一時的な避難。
4. 怪我人は、香部屋⑤を通過して (A) の避難所（司祭館の庭と山階の集会室⑥）へ案内
5. 香部屋の外側は、救急車のためにスペースを確保する。ピオ館側の車両出口の道を妨げることがないように注意。（車の出動は案内にしたがってのみ行う）
6. 東の車両入口（短大の体育館側の道）は、石垣の崩れの恐れがあり危険。（安全確認の後に使用可能）
7. 皆は、最終的に (C) の避難所（マリア館ホール）へ案内。状況によって (D) の避難所（カトリック会館の中庭）への集合もある。地震情報と影響のニュースを聞いて解散。

※ 以上は、消防署との検討を経ています。



南山教会の避難経路図